



令和8年度アクションプラン (綾瀬市行政運営の基本方針)

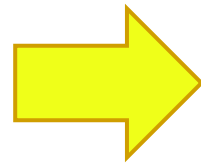
令和8年5月
綾瀬市



課題

財政の健全性の
維持・向上

持続可能な地域
の形成に向けた
地域課題の解決

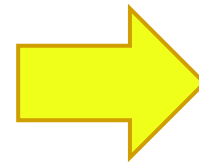


方向性

財源確保の取組みの
全庁的な積み重ね

多様な主体との
協働・共創

課題解消につながる
手段の検討・
事業の新規立案



手法

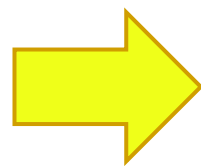
取組みの進捗管理・
部局間の情報共有・
検証機会の確保

PPP等の公民連携
の手法の活用

各部局における
自主性と専門性の
最大限の発揮

手法

- ① 取組みの進捗管理・
部局間の情報共有・
検証機会の確保
- ② PPP等の公民連携
の手法の活用
- ③ 各部局における
自主性と専門性の
最大限の発揮



課題の解決・見込まれる効果

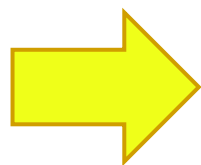
- ・ 率先した取組みの実行や横展開、見直しや改善による行財政改革の効果の発現
- ・ 限られた資源の中での多様化・複雑化する課題への対応による公的サービスの提供や地域の課題の解決
- ・ 質の高い市民サービスの提供、市民満足度の向上



課題

人材確保の難化

デジタル技術の急速な
発展に応じた活用

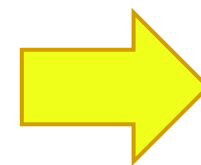


方向性

業務効率化・
省力化の必要性

繰返しの定型的作業
の圧縮・デジタル
技術による代行

A I 技術の進化
・利用の普及



手法

業務の見直し（BPR）
（窓口関係課）

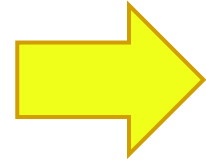
A I 総合案内の導入
（市公式LINE）

A I 自動応答の導入
（市民課・保険年金課）

※着手済

手法

①業務の見直し（BPR）
（窓口関係課）

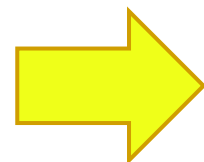


課題の解決・見込まれる効果

- ・時代や技術の変遷に伴う手法の見直しによる事務の効率化
- ・電子申請や電子での対応の拡充・整備による問合せ対応、窓口対応の省力化
- ・問合せ、窓口対応に要する労力・人件費の総量削減によるコスト削減

手法

② A I 総合案内の導入
(市公式LINE)

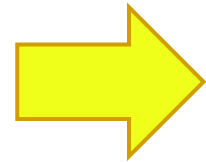


課題の解決・見込まれる効果

- ・ 市民は24時間、質問に対して回答を得ることができる（来庁する必要性の把握等を含む）
- ・ 市ホームページの様々な階層にある情報の取得が簡易になる
- ・ A I チャットボットで回答されることにより担当課への問合せが減少する
- ・ 市公式LINE登録者数の増加との相乗効果を生む施策

手法

③ A I 自動応答の導入 (市民課・保険年金課)



課題の解決・見込まれる効果

- 市民は24時間、質問に対して回答を得ることができる（来庁する必要性の把握等を含む）
- A I 自動応答で回答されることにより担当課への問合せが減少する
- 電話対応の一部がA I 自動応答で完了することによる作業中断の減少・業務の効率化